

横浜市立 共進中学校 学校評価報告書 (平成28～30年度)

重点取組分野	平成28年度		総括	重点取組分野	平成29年度		総括	重点取組分野	平成30年度		総括
	具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果			具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①国語、数学、英語、体育のTT授業を通して、効果的に学力の向上を図る。②日常的な授業公開や授業評価を行い、授業の質的向上を図る。③放課後の学習会を実施し、基礎の定着を図る。	①については学習状況調査等を踏まえ、再度学力の向上を図るよう次年度へつなげたい。②授業評価・授業公開も実施したが、年度末に間に合わせて実施するようなことがあったので適宜計画的に実施したい。③放課後の学習会は徐々に生徒数が増加し、職員の補充・場所の確保を来年度に課題として取り組む。	B	確かな学力	①数学、英語、理科のTT授業を通して、効果的に学力の向上を図る。②日常的な授業公開や授業評価を計画的に行い、授業の質的向上を図る。③放課後の学習会を実施し、基礎の定着を図る。自ら学ぶ生徒の育成を目指す。	①数学、英語、理科での少人数指導、TT指導を通し、より理解を深められる授業作りに努めた。②小中一貫研究授業や授業公開の機会を通じて、いただいた意見をもちに授業改善を行った。③放課後学習会では多くの生徒が自主的に参加している。基礎・基本の定着を図れるよう、来年度につなげていきたい。	B	確かな学力	①少人数指導、TT指導などを通して、効果的に学力向上を図る。②日常的な授業公開や授業評価を計画的に行い、授業の質的向上を図る。③放課後の学習会を実施し、基礎の定着を図る。形態を工夫し、生徒の自ら学ぶ意欲喚起に努める。		
豊かな心	①自己理解、他者理解を充実させていき、国際理解教育、多文化共生につなげていくことで、地域に合ったコミュニケーション能力を育成していく。②各学校内で確立されている道徳教育の情報交換を行い、地域に合った道徳教育を再構築していく。そして、9年間を通して、自己の生き方、人間としての生き方の考えを深めていく。	①自己理解に始まり、他者理解、地域理解、国際理解、多文化理解と徐々に視野、視点を広げ、つながりのある取組を、コミュニケーション能力の育成に努めた。②道徳教育について小学校と情報交換を行い、現状の把握に努めた。各校の特徴ある授業内容を生かしながら、今後の、具体的などのようにつなげていくかが今後の課題である。	B	豊かな心	①コミュニケーション能力育成の取組として、生徒会と連携し「朝のあいさつ運動」の充実を努めていく。②横浜子ども会議の内容を受け、共進中学校でのスローガンを作成する。③道徳教育の情報交換を小学校、地域、保護者との、9年間を通して、自己の生き方、人間としての生き方の考えを深めていく。	①学級委員、企画委員を中心として「朝のあいさつ運動」を行い、コミュニケーション能力育成に努めた。②横浜子ども会議の内容を受け、全校生徒へ報告提案をした。③道徳教育について小学校と情報交換を行い、現状の把握に努めた。各校の授業内容を生かしながら、具体的などのようにつなげていくかが今後の課題である。	B	豊かな心	①コミュニケーション能力育成の取組として、生徒会と連携し「朝のあいさつ運動」の充実を努めていく。②横浜子ども会議の内容を受け、全校生徒へ報告提案を行う。③道徳・人権教育の情報交換を小学校、地域、保護者との、9年間を通して、自己の生き方、人間としての生き方の考えを深めていく。		
健やかな体	①保健体育科では「健康の保持増進」を第一の目標とし、基礎体力の向上に努めるとともに、体を動かす楽しさや喜びを学ぶことで、生涯にわたって健康を意識し、運動を楽しむ生活を送れるようにしていく。②家庭科では、食教育と関連して保健体育・保健分野と連動した授業(特に食生活)を展開する。	①保健体育科では、毎授業においてランニングの時間を確保し、基礎体力の向上に努めた。また、体育理論も含め、各種目の特性の理解に重点を置き指導を行うことで、生涯体育の普及に努めた。②家庭科では、食教育と関連して保健体育・保健分野と連動した授業(特に食生活や安全・衛生)に努めた。	B	健やかな体	①保健体育科では「健康の保持増進」を第一の目標とし、基礎体力の向上に努めるとともに、体を動かす楽しさや喜びを学ぶことで、生涯にわたって健康を意識し、運動を楽しむ生活を送れるようにしていく。②家庭科では、食教育と関連して保健体育・保健分野と連動した授業(特に食生活)を展開する。	①保健体育科では、毎授業においてランニングの時間を確保し、基礎体力の向上に努めた。また、体育理論も含め、各種目の特性の理解に重点を置き指導を行うことで、生涯体育の普及に努めた。②家庭科では、食教育と関連して保健体育・保健分野と連動した授業(特に食生活や安全・衛生)に努めた。	B	健やかな体	①保健体育科では「健康の保持増進」を第一の目標とし、基礎体力の向上に努めるとともに、体を動かす楽しさや喜びを学ぶことで、生涯にわたって健康を意識し、運動を楽しむ生活を送れるようにしていく。②家庭科では、食教育と関連して保健体育・保健分野と連動した授業(特に食生活)を展開する。		
生徒指導	①朝のあいさつ運動により、お互いに声を掛け合える関係をつくる。教育相談期間や日々の生活の中で、生徒とコミュニケーションをとる時間を大切に信頼関係を育んでいく。②横浜子ども会議で話し合ったことをもとに学校生活を見つめなおし、課題があれば解決に向けて取り組んでいけるように支援する。	①朝のあいさつ運動や、登校・下校指導の時間を大切に、生徒とコミュニケーションを深めた。教育相談はもちろん、授業や休み時間を生徒と過ごすよう掛け、信頼関係を築いた。②横浜子ども会議で話し合ったことをもとに、みんなが安心して過ごせる環境づくりに力を入れた。小中合同でのあいさつ運動も継続し、教員及び子ども双方の連携をさらに深めた。	B	生徒指導	①朝のあいさつ運動や、登校・下校指導の時間を大切に、生徒とコミュニケーションを深めた。教育相談はもちろん、授業や休み時間を生徒と過ごすよう掛け、信頼関係を築いた。②横浜子ども会議で話し合ったことをもとに、みんなが安心して過ごせる環境づくりに力を入れた。	①朝のあいさつ運動や、登校・下校指導の時間を大切に、生徒とコミュニケーションを深めた。教育相談はもちろん、授業や休み時間を生徒と過ごすよう掛け、信頼関係を築いた。②横浜子ども会議で話し合ったことをもとに、みんなが安心して過ごせる環境づくりに力を入れた。	B	生徒指導	①朝のあいさつ運動により、お互いに声を掛け合える関係をつくる。教育相談期間や日々の生活の中で、生徒とコミュニケーションをとる時間を大切に信頼関係を育んでいく。②横浜子ども会議で話し合ったことをもとに学校生活を見つめなおし、課題があれば解決に向けて取り組んでいけるように支援する。		
保健安全管理	①個々の職員による日常的な安全点検により、問題点の早期発見と適切な処置にあたる。清掃活動強化週間(クリーン共進)や落ち葉清掃活動の設定などによる清掃活動の充実させていく。②朝の健康観察、連絡なく欠席している生徒への確認連絡を確実にし、不登校の前兆、感染症の発生等に対し早期に対応できるようにする。	①危険箇所や問題点の早期発見と適切な処置にあたること、職員全体に周知し、安全意識の向上に努めた。クリーン共進や落ち葉清掃活動では、事前事後の指導や内容を工夫し、充実した。②朝の健康観察や欠席確認連絡によって、不登校の前兆やいじめの早期発見、感染症対策に努めた。	B	保健安全管理	①過去の処置例や補修履歴等を提示し、安全点検後の迅速で適切な処置ができるようにする。学校薬剤師による環境検査の結果や助言を参考に、教室の空調の温度管理や換気を実施し、すこやかな教室環境を維持できるようにする。②欠席になる欠席や遅刻に対して、理由や状況を把握し、職員で共有し早期対応ができるようにする。	①安全点検については、庶務係を中心に技術員事務職も含めて会議を行い迅速的な手当てができた。各保健的行事において学校薬剤師による講演やアドバイスを受け、校内環境についても取り組んでいくことができた。②欠席者遅刻早退者については、しっかりと把握し迅速な連絡対応ができた。	B	保健安全管理	①学校防災計画を見直し、30年度中に完成させる。そのことに伴い防災に関する校内研修を行いたい。また、引き取り訓練の実現化に向けて段階的に計画を立てて31年度実施に向けて取り組んでいく。②欠席や遅刻に対して、理由や状況を把握し、職員で共有しながら早期対応ができるようにする。		
保護者、地域との連携	①評価説明会や年4回の懇談会、地域懇談会で学校経営方針について説明を行う。②学校便りを毎月発行し、さらに学校ホームページに掲載して、教育活動の報告など積極的な情報発信に努める。	①については学校経営方針について説明することができた。②については学校便りを効果的に発行することができた。学校ホームページによる積極的な情報発信に努めた。	B	保護者、地域との連携	①評価説明会や年4回の懇談会、地域懇談会で学校経営方針について説明を行う。②学校便りを毎月発行し、さらに学校ホームページに掲載して、教育活動の報告など積極的な情報発信に努める。	①については学校経営方針について説明することができた。②については学校便りを毎月発行し、効果的に情報を発信することができた。また、学校ホームページによる積極的な情報発信に努めた。	B	保護者、地域との連携	①評価説明会や年4回の懇談会、地域懇談会で学校経営方針について説明を行う。②学校便りを毎月発行し、さらに学校ホームページに掲載して、教育活動の報告など積極的な情報発信に努める。また、メール配信による緊急時等の連絡を行えるようにする。		
特別支援教育	①生徒の持つ困り感について、学年学級の情報をもとに適宜ケース会議(SC、Co、養護教諭)を行い、可能な支援を展開する。②通級指導教室の専門的支援センター機能を特性から行動を理解する際に有効活用し、支援が生徒のニーズに適しているか評価する。	①月1回ケース会議を行った。学年の情報から上がってくるケースについて支援内容の適正について確認した。②Y-Pアセスメントを活用し生活指導における支援状況に効果が見られるのか確認した。成果が見られる学級が多く、指導支援に自信を持って取り組むモチベーションにつながった。	B	特別支援教育	①生活指導部や学年会の情報をもとに、月1回のケース会議(SC、Co、養護教諭、他)を継続し、適切な支援について検討する。②生徒の言動を特性から理解し、支援方法が検討できるように、「個別の指導計画」を現実的、実践的に役立つ資料として活用できるように整備する。	①月1回ケース会議を行う予定だったが、思うように会議をもたず、SCと個々に話をもった。②今年度の通級指導教室利用生徒の「個別的教育支援計画」作成に向けて、通級指導教室の専門的支援センター機能を活用し学級担任と一緒に考えて取り組めた。生徒支援の方策を考えることができた。	B	特別支援教育	①生徒の持つ困り感について、学年学級の情報をもとに適宜ケース会議(SC、Co、養護教諭)を行い、可能な支援を展開する。②通級指導教室の専門的支援センター機能を特性から行動を理解する際に有効活用し、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と実際の支援が生徒のニーズに適しているか評価する。		
人材育成・組織運営	①教科指導・人権指導・生徒指導や保護者との連携等の研修会を年4回実施する。②5年次までの教員が年間5回程度の授業見学と研究授業を実施する。	①教科指導・人権指導・生徒指導や保護者との連携等の研修会を年4回実施できた。②5年次までの教員が授業見学と研究授業を実施したが、あまり計画的に行うことができなかった。計画的に研究授業等を行うことが来年度の課題である。	B	人材育成・組織運営	①教科指導・人権指導・生徒指導や保護者との連携等の研修会を年4回実施する。②5年次までの教員が年間5回程度の授業見学と研究授業を計画的に実施する。	①教科指導・人権指導・生徒指導や保護者との連携等の研修会を年4回実施できた。②5年次までの教員が授業見学と研究授業を実施したが、計画的に行うことができなかった。来年度は計画的に研究授業等を行えるようにする。	B	人材育成・組織運営	①教科指導・人権指導・生徒指導や保護者との連携等の研修会を年4回実施する。②5年次までの教員が年間数回の授業見学と研究授業を計画的に実施する。また、5年次までの教員が集まって講習会を開けるように計画する。		
ブロック内相互評価後の気付き	各教科ごとに研究授業参観を行い、9教科授業に関する協議及び9年間のつながりに視点を置いた意見交換を行った。小学校の教室環境づくりが大変参考になった。学校スタンダードをそろえる努力をしてきたが、引き続きの努力が必要であるとの意見となった。			ブロック内相互評価後の気付き	教科毎に研究授業参観を行い、授業に関する協議及び国際的な視点からどのような指導をしているかなどの意見交換を行った。授業では多くの教科でグループワークが行われていて、リーダーを中心に活発な話し合いが行われていた。また、ICTを活用した授業も多く、視覚的にも興味関心を引き、集中して授業に臨めるなどの意見があった。今後はグループの構成の仕方やICTの更なる具体的な活用法を研究していく必要がある。また、国際的な視点からは、図や写真を使用し、視覚的に分かりやすい授業を行うことや、授業への通訳入り込みの増加の必要があるとの意見があった。			ブロック内相互評価後の気付き			
学校関係者評価	・中学生の地域行事の参加は、学校からの協力が必要だが中学生にとって魅力ある行事の工夫も必要と考える。・桜まつり、南まつり、光のぶろむななど等小中学生ともに喜んで参加する行事も多い。・部活動が盛んで生徒が元気にやっているところが多い。・中学校お弁当当番やアレルギー対策はどうなっているのか。・小中の連携や交流が充実しているのはいいが、学力の定着に向けて一層の協力が望まれる。・小学校で学んだお囃子など伝統文化を中学校で継続できる方法がないか検討してほしい。			学校関係者評価	・学校生活や部活動など、楽しんで過ごしているようなので安心している。・小中の連携や交流が充実しているが、学力向上に向けて一層の協力が望まれる。・今の生徒は落ち着いてきていて、地域で問題を起こすこともなくなり、あいさつも元気にしてくれる。・中学生の地域行事の参加をお願いしたい。桜まつり、南まつり、光のぶろむななど等小中学生ともに喜んで参加する行事も多いが、小学校で学んだお囃子など伝統文化を中学校で継続できる方法がないか検討してほしい。			学校関係者評価			
学校経営中期取組目標振り返り	・新たな学校経営中期目標を掲げ、7つの重点取組分野の目標の実現に向けて、全職員で第一歩を踏み出した。担当部署を明確にしたことが、職員の参画意識の向上につながった。・生徒の地域活動への積極的な参加については、学校と地域が連携して取り組んでいく必要があると考える。「まち」とともに歩む学校懇話会を中心としながら、新たなアイデアを生み出していきたい。・本年度、新たに立ち上げた取組を来年度に向けてさらに充実したものにしていきたいと考える。			学校経営中期取組目標振り返り	・学校教育目標の下、学校経営中期取組目標において、9つの重点取組分野の目標の実現に向けて、全職員で取り組んできた。担当部署が明確になっていて、職員の参画意識の向上につながっている。・生徒の地域活動への積極的な参加については、学校と地域が連携して取り組んでいく必要があると考える。「まち」とともに歩む学校懇話会を中心としながら、取り組んでいきたい。・2年目となり行ってきた取組を来年度に向けてさらに充実したものにしていきたいと考える。			学校経営中期取組目標振り返り			

